

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

氏名	明治・大正・昭和 平成・令和	年	月	日生（ ）歳	男・女
住所					
① 障害名（部位も明記）					
② 原因となった 疾病・外傷名					
交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、 自然災害、疾病、先天性、その他（ ）					
③ 疾病・外傷発生年月日					
年 月 日 ・ 場所					
④ 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）					
障害固定又は障害確定（推定）					
年 月 日					
⑤ 総合所見					
〔将来再認定（障害程度の変化の見込） 要 ・ 不要 〕					
〔再認定の時期 年 月〕					
⑥ その他参考となる合併症状					
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。					
令和 年 月 日					
病院又は診療所の名称					
所在地					
診療担当科名					
科 医師氏名 (印)					
(氏名を自署する場合は、押印を不要とする。)					
身体障害者福祉法第15条第3項の意見 [障害程度等級についても参考意見を記入すること。]					
障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に					
・ 該当する。 ( 級相当)					
・ 該当しない。					
注意	<p>1 障害名には現在起っている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。</p> <p>2 歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、「歯科医師による診断書・意見書」(別様式)を添付してください。</p> <p>3 障害区分や等級決定のため、静岡県社会福祉審議会からお問い合わせする場合があります。</p>				

(該当するものを○で囲むこと。)

1 身体計測

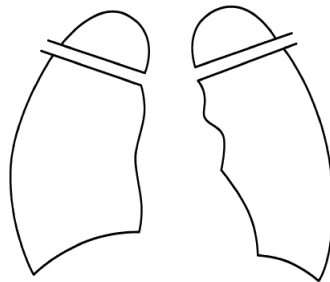
身長                      cm                      体重                      kg

2 活動能力の程度

- (1) 激しい運動をした時だけ息切れがある。
- (2) 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。
- (3) 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。
- (4) 平坦な道を約 100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。
- (5) 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見 (                      年                      月                      日)

- (1) 胸膜癒着 ( 無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度 )
- (2) 気腫化 ( 無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度 )
- (3) 線維化 ( 無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度 )
- (4) 不透明肺 ( 無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度 )
- (5) 胸郭変形 ( 無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度 )
- (6) 心・縦隔の変形 ( 無 ・ 軽度 ・ 中等度 ・ 高度 )



4 換気機能 (                      年                      月                      日)

(1) 予測肺活量 □ . □□ L (実測肺活量 □ . □□ L)

(2) 1 秒量 □ . □□ L (実測努力肺活量 □ . □□ L)

(3) 予測肺活量 1 秒率 □□ . □ %  $\left[ = \frac{(2)}{(1)} \times 100 \right]$

((1)については、下記の予測式を使用して算出すること。)

肺活量予測式 (L)

男性  $0.045 \times \text{身長 (cm)} - 0.023 \times \text{年齢 (歳)} - 2.258$

女性  $0.032 \times \text{身長 (cm)} - 0.018 \times \text{年齢 (歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性 18-91 歳、女性 18-95 歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

5 動脈血ガス ( 年 月 日)

(1) O<sub>2</sub> 分圧 □□□ . □ Torr

(2) CO<sub>2</sub>分圧 □□□ . □ Torr

(3) pH □ . □□

(4) 採血から分析までに時間を要した場合 □□ 時間 □□ 分

(5) 耳だ血を用いた場合( )

6 その他の臨床所見